



【重要】「WPA 公認グランプリ大会参加条件」について

2019年4月6日

特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
強化委員会 国際委員会

当連盟においては2018年1月より、WPA公認国際グランプリ大会(以下、GP)への参加自由化を実施して参りました。自由化の背景としては、知的障がいクラス(T/F20)において、新たなクラス分け方法の導入により、「Confirmed」を所持していた選手のクラスステータスが「Review」に変更になったこと等が挙げられます。

2018年度のGPにおいては、上記の理由からクラス分け希望者が世界的に増加しました。その状況を受け、クラス分け実施人数制限を行う声明がWPAより公表されました。また、2018年度の北京GPにおいては大会前日にクラス分けテスト不実施が組織委員会から通達される等、大きな混乱が見られました。

GPはJPCを通して他の競技団体との協働の元に実施される性質のものです。自由化から1年が経ち、現地での個々の活動においてトラブルが散見されたこともあります。

以上を鑑み、当連盟では検討を重ねた結果、2019年4月6日以降のグランプリ大会申し込みから、下記のとおりGP参加条件を設定致します。2020東京大会に向けた強化の枠組の一環として、皆様には御理解御協力いただきますようお願い致します。

記

- 当連盟が事業として位置付け、当連盟役員を現地対応責任者として派遣する大会のみ、案内をする。
- 当該年度のパラリンピック実施種目強化指定選手であること。
- 国際クラス分けについては、2019年は強化指定選手クラスNの選手を優先する。クラス分けについては、当連盟役員が帯同する。
- 2019年事業(予定) イタリアGP(6月)、パリGP(8月)

以上